

## 2020 年度実施概要

学校名

福岡県宗像市立赤間西小学校

採択活動名

守ろう！宗像の海！～われら，釣川調査隊！～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 守ろう！宗像の海！～われら，釣川調査隊！～	第4学年	社会・総合
2.		
3.		

取り組みの概要

## 『守ろう！宗像の海！～われら，釣川調査隊！～』（第4学年 社会科・総合的な学習の時間）

社会科の学習「水はどこから」との関連を図り，生活に欠かせない水の行方を振り返りつつ，宗像市にある沖ノ島にゴミが流れ着いている現状を知り，学習課題を設定する。課題解決のため，宗像市の環境保全団体，海女さん，市役所からの協力を得て，宗像の海を守るため，SDGs（持続可能な開発目標）を達成するための具体的な方策を，主体的に解決しようという子どもを育成していくとともに，世界遺産のある宗像への愛着をもたせる。

## 〈導入段階〉

- 社会科の学習を振り返り，水はどこからきているのか，使った水はどうなるのかについて，具体的に想起させ，宗像市の特徴について知る。（ICT 機器の活用・パナソニックのソフト）
- 宗像市にある沖ノ島にゴミが流れついていることや，沖ノ島周辺に生息する生き物がマイクロプラスチックを体内に取り込むことで被害を受けているといった現状を知り，自分たちにできる環境保全について考える学習課題を設定する。（ICT 機器の活用・パナソニックのソフト）
- 学習課題を解決するための見通しをもつ。
  - ・水が流れ出る源泉や河口のフィールドワークをする。
  - ・専門家からの話を聞く。
  - ・海に流れついたゴミを知るために，漁師さんにインタビューする。
  - ・自分たちにできることを考える。

## 〈展開段階〉

- 宗像市（水と緑の会）が行っている「水辺教室」の取組を活用し，大学の先生と一緒に源泉や河口のフィールドワークを行う。その際，水中生物について観察したり，釣川河口のゴミ拾いを行ったりして，これからの学習の方向性をもたせる。



【ICT 活用で宗像市の概観をつかむ】



【水辺教室（釣川の源流）】

- 海の道むなかた館の方から、宗像にある沖ノ島の話や世界遺産の話聞き、宗像の歴史について学ぶ。
- 宗像の海や沖ノ島周辺で漁をしている海女さんに海の現状や沖ノ島に流れ着いている漂着ゴミについて話を聞いたり、何が困っているのか、このままだとどうなるのか、できることは何か、などについて聞いたりする。
- 宗像市役所環境課の方から、宗像の環境を守るためにできることについて、地球温暖化の視点から話してもらうとともに、自分たちにできることについて、具体的な方向性を聞く。
- 宗像の海を守るができる方法を啓発するために、「何のために実行するのか」を明確にして、自分たちにできることをピラミッドチャートで考えを整理して、グループで取り組むことを決める。
- グループごとに自分たちの考えが伝わるように練習（準備）を行い、学校や家庭、地域に向けて、啓発の準備を行う。



【1日に沖ノ島に漂着するゴミ】



【グループごとに考えを整理する】

〈終末段階〉

- 宗像の海を守るためにできることを発表し、家庭や地域に発信する。



【保護者への啓発】



【子どもたちによる自主的な校区ゴミ拾い】

- 子どもたちによる自主的な校区ゴミ拾いを行う。
- 学習を振り返る。

#### 活動中の写真

デジタルデータにて2~3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)